

放射性物質拡散予測調査について

1 放射性物質拡散予測について

原子力発電所から大量の放射性物質が放出した場合を想定し、放出源情報（放出量、放出開始時刻、継続時間、核種名等）、気象条件及び地形データを基に、周辺環境における放射性物質の大気中濃度、被ばく線量を予測

2 過去の調査実績

平成23年度、高浜発電所からの放出を想定した調査を実施済

【16パターン（8パターンの風向き×2核種（ヨウ素・セシウム））】

3 平成30年度拡散予測（予定）

- ① 大飯発電所からの放出を想定した調査
- ② 高浜発電所及び大飯発電所の同時発災を想定した調査
- ③ 高浜発電所についても、上記2のパターン以外で検討

※ 拡散予測範囲は100km²を予定

4 平成30年度当初予算額

7,000千円

（予測単価 437,500円×16パターン）